

令和7年（2025年）8月8日に 鹿児島県に大雨特別警報を発表した事例

令和7年10月 気象庁大気海洋部

気象と災害の概況

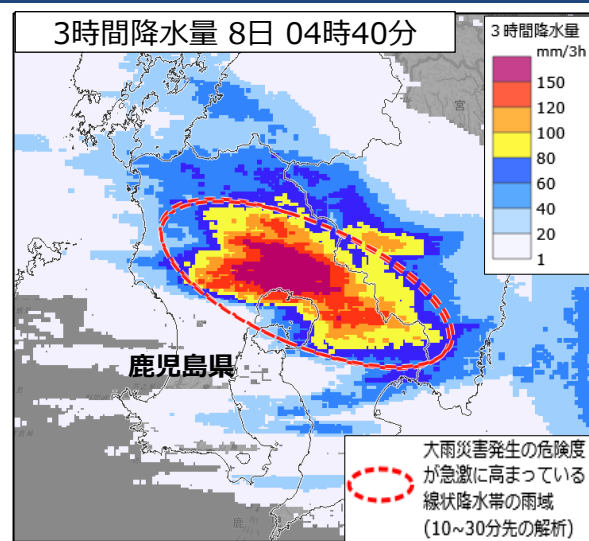
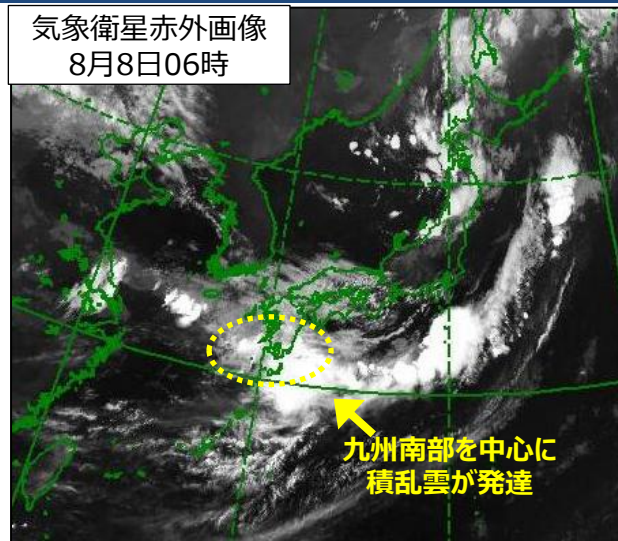
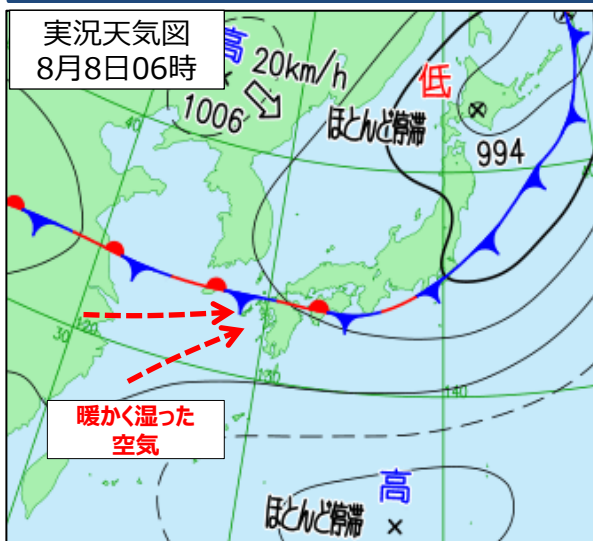
■概要

- 8月6日から8月12日にかけて、日本付近に停滞した前線の活動が活発となった。8日は前線が九州付近に南下して、九州南部を中心に非常に激しい雨※¹や局地的には猛烈な雨※²が降った。
- 鹿児島県では、8日未明から明け方にかけて線状降水帯が繰り返し発生し、霧島市では1時間降水量で100ミリ、3時間降水量で200ミリ、24時間降水量が500ミリを超え、観測史上1位の値を更新した地点があった。この大雨において、霧島市では、土砂災害の危険度が非常に高くなり、さらに激しい雨が降り続いて重大な災害のおこるおそれが著しく高まったことから、8日明け方に同市を対象に大雨特別警報を発表した。
- この大雨の影響で、鹿児島県では、浸水害、土砂災害が発生し、人的被害、住家被害等が発生した。

※1 非常に激しい雨：1時間に50mm以上80mm未満の雨 ※2 猛烈な雨：1時間に80mm以上の雨

■人的・住家被害の状況（令和7年8月18日7時00分内閣府とりまとめによる） 鹿児島県のみ抜粋

- 死者1人、負傷者5人、住家全壊2棟、床上浸水376棟、床下浸水432棟



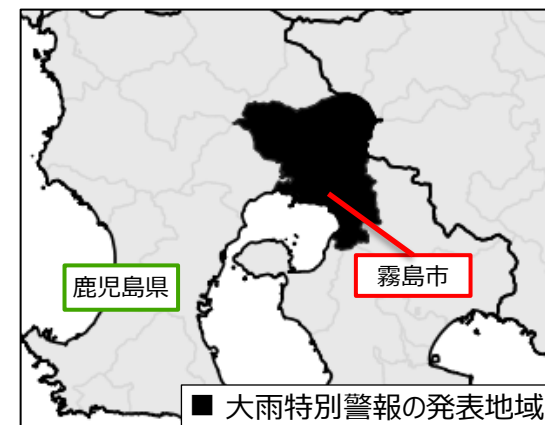
8月8日に鹿児島県に対して大雨特別警報を発表した際の気象状況

左：実況天気図 中央：気象衛星赤外画像 右：3時間降水量（気象レーダーによる解析）

大雨特別警報発表状況と降水量について

■大雨特別警報の発表状況

都道府県	発表地域	発表時刻	警報への切替時刻
鹿児島県	霧島市	8月8日05時00分	8月8日13時30分



■8月6日から12日にかけての降水量について

鹿児島県の降水量期間合計値（鹿児島県内の多いところ上位4地点）

都道府県	市町村	観測地点	降水量 (mm)	8月平年値 (mm)
鹿児島県	霧島市	牧之原（マキノハラ）	588.0	307.7
鹿児島県	霧島市	溝辺（ミゾベ）	568.5	264.1
鹿児島県	薩摩川内市	八重山（ヤエヤマ）	443.5	259.8
鹿児島県	鹿屋市	輝北（キホク）	399.5	298.0

鹿児島県の24時間降水量期間最大値（観測史上1位を更新した地点）

都道府県	市町村	観測地点	降水量 (mm)	日時分 (まで)
鹿児島県	霧島市	牧之原（マキノハラ）	515.5	8/8 08:00
鹿児島県	霧島市	溝辺（ミゾベ）	506.5	8/8 12:50

鹿児島県の1時間降水量期間最大値（観測史上1位を更新した地点）

都道府県	市町村	観測地点	降水量 (mm)	日時分 (まで)
鹿児島県	霧島市	溝辺（ミゾベ）	107.5	8/8 03:00

鹿児島県の3時間降水量期間最大値（観測史上1位を更新した地点）

都道府県	市町村	観測地点	降水量 (mm)	日時分 (まで)
鹿児島県	霧島市	溝辺（ミゾベ）	240.0	8/8 03:40
鹿児島県	霧島市	牧之原（マキノハラ）	171.0	8/8 03:20

雨量の予想と実際の状況について

- 九州付近に停滞する前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込むため、鹿児島県（奄美地方を除く）では大雨となることを予想し、7日昼前から気象情報を発表して土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水への注意を呼びかけていた。また、7日夜には、線状降水帯発生の可能性に言及し、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重な警戒を呼びかけた。
- 実際には、大雨特別警報を発表した地域では、8日未明と明け方に線状降水帯が発生するなど、7日夜から8日明け方にかけて、非常に激しい雨や猛烈な雨が降り続いたことで、予想を大きく上回る雨量となり、8日12時までの24時間に500ミリを超える記録的な大雨となった。

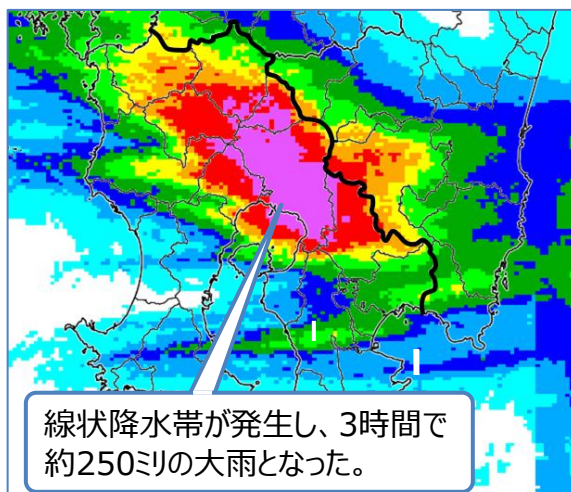
7日昼前の時点の予想 3 時間雨量（多い所）

7日～8日	18時～24時	00時～06時	06時～12時
鹿児島県	25 ミリ	60 ミリ	45 ミリ

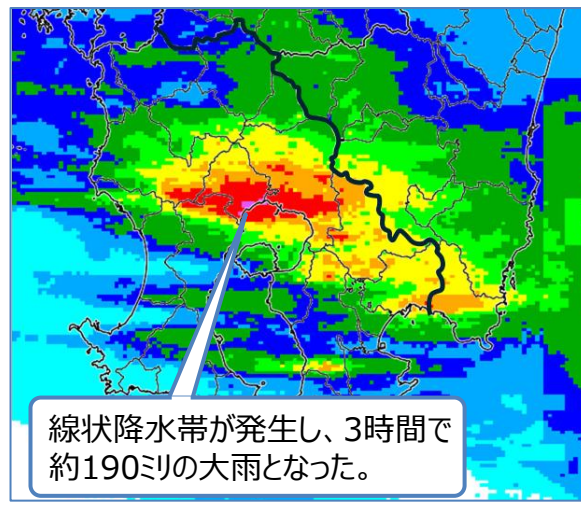
7日昼前の時点の予想24時間雨量（多い所）

	8日12時まで
鹿児島県	150 ミリ

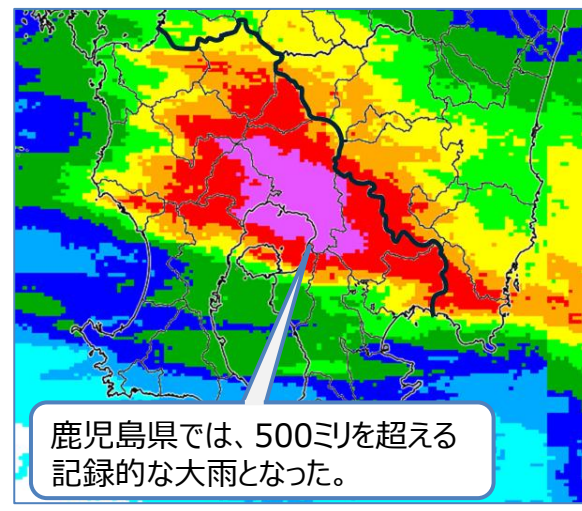
8日3時までの3時間雨量（実況*）



8日6時までの3時間雨量（実況*）



8日12時までの24時間雨量（実況*）



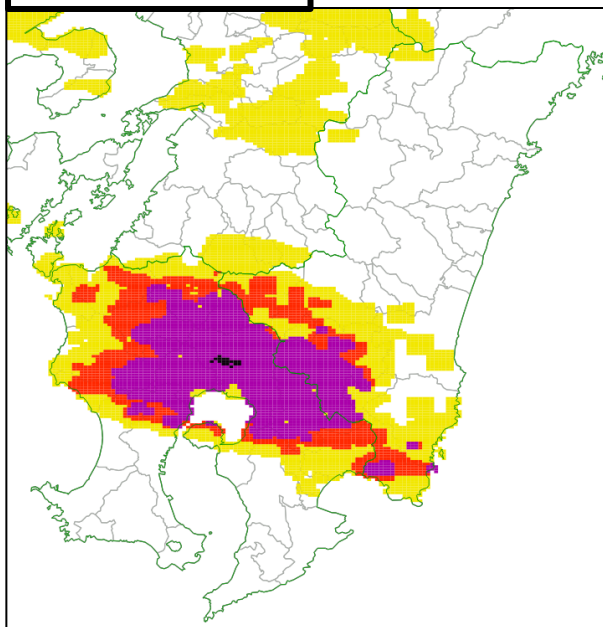
鹿児島県では、8日の未明から明け方にかけて線状降水帯が複数発生した。

* 実況の雨量はいずれも解析雨量による。

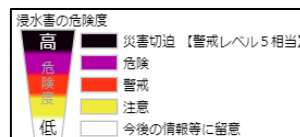
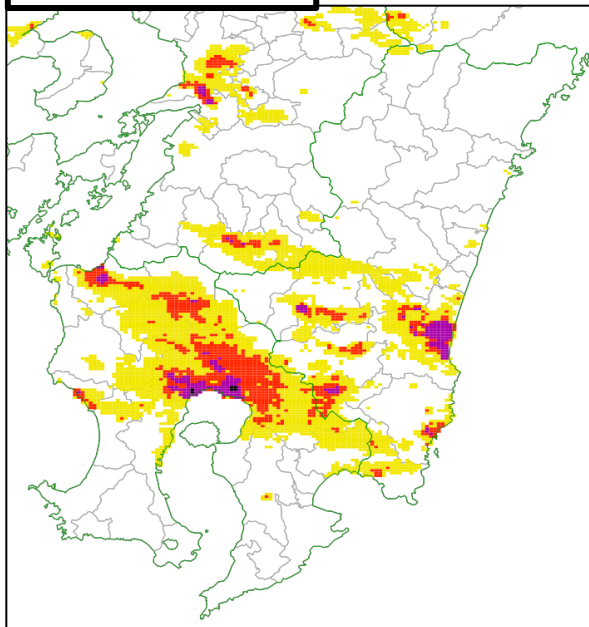
キキクル（危険度分布）の状況

8月8日：鹿児島県ではすべてのキキクルで黒（災害切迫）が出現し、大雨特別警報が発表された。宮崎県ではすべてのキキクルで紫（危険）が出現した。

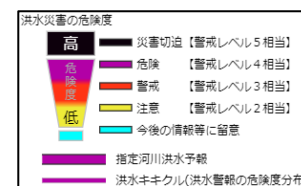
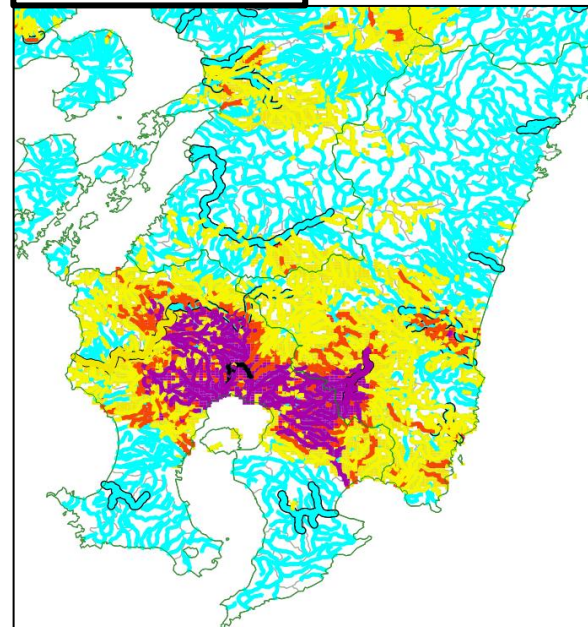
土砂キキクル



浸水キキクル



洪水キキクル



8月7日12時から8月8日12時にかけて出現した各格子・各流路ごとの最大の危険度

線状降水帯に関する情報の発表状況

○ 線状降水帯に関する情報の発表状況

地方予報区	府県予報区※1	半日程度前からの呼びかけ※2、※3	顕著な大雨に関する気象情報※4	3時間降水量の最大値※5、※6
九州南部・奄美地方	鹿児島県 (奄美地方除く)	8月7日21時30分	8月8日01時07分(薩摩地方)※ ※呼びかけ対象期間の2時間前に発生 8月8日04時47分(薩摩地方、大隅地方)	約130ミリ 約200ミリ※7

※1 鹿児島県では奄美地方を、東京都では伊豆諸島と小笠原諸島を区別して発表する。

※2 一連の現象で複数回呼びかけた場合は、最初の呼びかけ日時のみ掲載。

※3 全般気象情報、地方気象情報、府県気象情報のうち、一番早く発表された情報の時刻を掲載。

※4 線状降水帯の発生をお知らせする「顕著な大雨に関する気象情報」は、現在、10分先、20分先、30分先のいずれかにおいて、以下の基準をすべて満たす場合に発表する※8。

① 前3時間積算降水量(5kmメッシュ)が100mm以上の分布域の面積が500km²以上

② ①の形状が線状(長軸・短軸比2.5以上)

③ ①の領域内の前3時間積算降水量最大値が150mm以上

④ ①の領域内の土砂キキクル(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)において土砂災害警戒情報の基準を超過(かつ大雨特別警報の土壌雨量指数基準値への到達割合8割以上)又は洪水キキクル(洪水警報の危険度分布)において警報基準を大きく超過した基準を超過

形状の基準

雨量の基準

危険度の基準

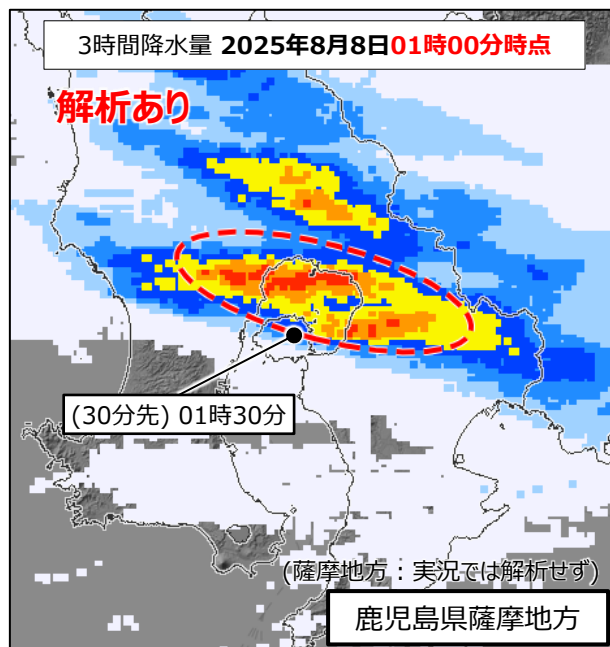
※5 顕著な大雨に関する気象情報の発表をした事例については、線状降水帯の雨域における3時間降水量の最大値を示している。

※6 線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけを実施したものの、顕著な大雨に関する気象情報を発表しなかった府県予報区については、期間中雨量が多かった時間帯における3時間降水量の最大値を示している。

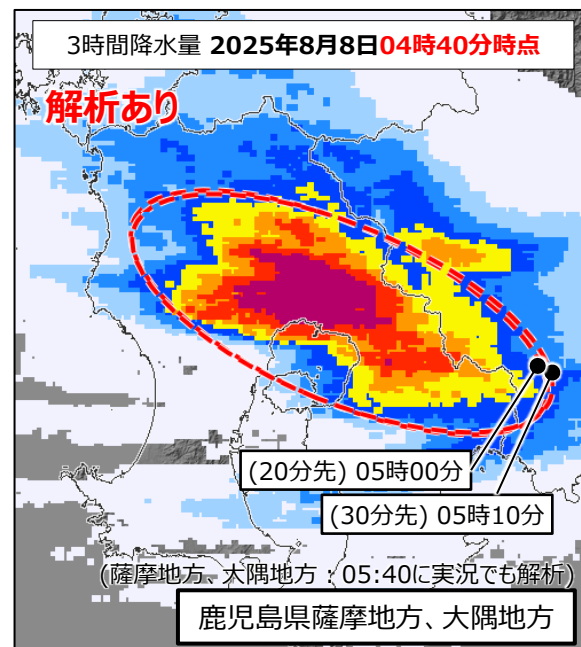
※7 10～30分先に基準を満たすとして「顕著な大雨に関する気象情報」を発表した場合、実際には前3時間降水量積算値が150mmに達しないことがある。

※8 情報を発表してから3時間以上経過後に発表基準を満たしている場合は再発表するほか、3時間未満であっても対象区域に変化があった場合は再発表する

線状降水帯の解析状況（九州南部・奄美地方 8月8日）



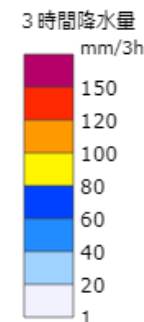
線状降水帯の雨域における3時間降水量の
最大値は**約130ミリ**



線状降水帯の雨域における3時間降水量の
最大値は**約200ミリ**

- ・ 顕著な大雨に関する気象情報の発表をした事例については、それぞれの地域における、当該情報の発表に用いた線状降水帯の雨域(ラベル付き)及びその解析された時刻を示している。
- ・ 線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけを実施したものの、顕著な大雨に関する気象情報を発表しなかった府県予報区については「解析なし」とし、期間中雨量が多かった時間帯の雨量の状況を表示している。
- ・ 各府県予報区の3時間降水量の最大値は5kmメッシュに平滑化した値を記述しており、1kmメッシュの3時間降水量分布図の最大値と一致しない場合がある。

※雨量の基準は超えたが顕著な大雨に関する気象情報が発表されなかった場合は、満たさなかった基準を記す。



- 大雨災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域（現在時刻の解析）
- 大雨災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域（10～30分先の解析）